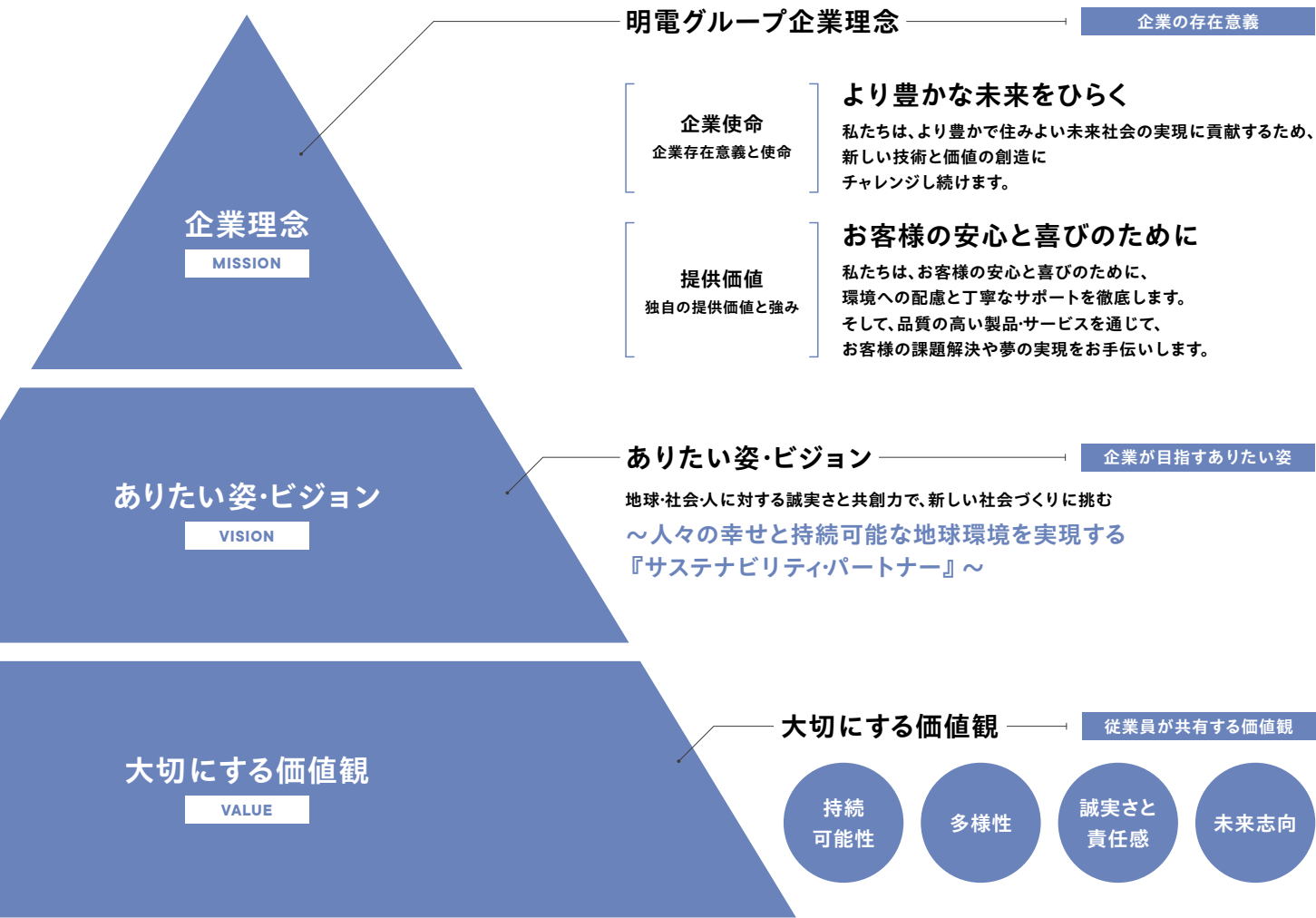
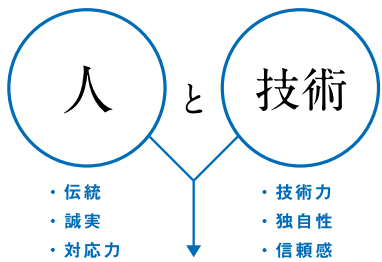


明電グループ企業理念



MEIDEN
Quality connecting the next



“Quality”

企業スローガン(理念の主張をワンフレーズで表現)

私たちが考える“クオリティ”には、製品やサービスの品質という意味はもちろん、それを支える「人」と「技術」という意味も込められています。社員の誠実さや柔軟な対応力で、世界中のお客様と、より強い絆を結んでいくこと。技術力から生まれる、時代や市場に合わせた独自の製品や、信頼感のあるサービスで、社会に貢献していくこと。ふたつがひとつになり、新しいつながりを創っていく。お客様と私たち。そして、社会とそこに暮らす人びと。つながりを広げて、培ってきたチカラを、次の時代のエネルギーへ。

お客様の安心と喜び、その先にある人びとのかけがえのない毎日のために。明電グループのクオリティで、より豊かな未来へとつなげていく。それは、これからも変わらない、私たちの使命です。

編集方針

本レポートにおける記載内容については、取締役会で報告・審議のうえ決定しています。報告内容については、日頃の広報・IR活動や各部門へのヒアリングなどを通じて、ステークホルダーの期待や関心の高い情報を収集・把握し、発信することに努めています。

「明電舎レポート2025」では、明電グループのありたい姿に向けた価値創造や2025年度からスタートした「中期経営計画2027」における成長戦略、そしてその成長戦略を支える経営基盤の強化の取組みについて、ステークホルダーの皆様に分かりやすくお伝えできるよう、対話に必要な情報を丁寧にまとめることに努めました。本レポートを通じて、明電グループが実現したい社会やその想いに共感くださり、より豊かな未来社会の実現に向けた共創の波が広がることを期待いたします。

本レポートが、ステークホルダーの皆様とのより良い対話の一助となれば幸いです。

明電舎レポートの作成・承認プロセスと責任

本レポートの作成にあたっては、IFRS Foundationが提唱する「国際統合報告フレームワーク」や、経済産業省が提唱する「価値協創のための総合的開示・対話ガイダンス2.0」なども参照しながら編集しています。

記載内容については、日頃ステークホルダーの皆様から頂戴するご意見・ご質問を踏まえたうえで、各組織と連携を図りながら、明電グループのありたい姿を実現するための、長期的かつ総合的な視点から、分かりやすくお伝えできるよう作成いたしました。私は、その作成プロセス及び記載内容が正当であることを確認しています。

当社は、株主・投資家をはじめとしたステークホルダーの皆様にも明電グループをご理解いただくためのコミュニケーションツールとして、2013年から統合報告書「明電舎レポート」を発行してまいりました。今後も本レポートを対話のツールとして活用し、ステークホルダーの皆様と真摯に向き合いながら、持続的な企業価値の向上に努めてまいります。

代表取締役 執行役員社長 井上 晃夫

将来に関する予測・予想・計画について

本レポートには、明電グループの過去と現在の事実だけでなく、発行日時点における計画や見通し、経営方針・経営戦略に基づいた将来予測が含まれています。この将来予測は、記述した時点で入手できた情報に基づいた仮定ないし判断であり、前提条件の変化によって、将来の事業活動の結果や事象が予測とは異なったものとなる可能性があります。読者の皆様には、以上をご了承いただきますようお願いいたします。

報告媒体

明電グループでは、「明電舎レポート」(冊子版・Web版)と「明電グループのサステナビリティ」(Web版)の2つの媒体を通じて、ステークホルダーの皆様にも明電グループの社会的責任に対する姿勢や取組みをお伝えしています。

冊子、Web版 「明電舎レポート」(本誌)	Web版 「明電グループのサステナビリティ」
明電グループに関する財務情報や企業価値向上に資する取組み、経営戦略などの非財務情報を網羅的にまとめています。	明電グループが重要と考えるサステナビリティ課題に対する具体的な取組みを中心に、分かりやすく紹介しています。
	
	 https://meidensha.disclosure.site/ja

CONTENTS

イントロダクション

- | | |
|---|-----------------|
| 1 | 明電グループ企業理念/編集方針 |
| 3 | トップメッセージ |

価値創造ストーリー

- | | |
|----|-------------------------------|
| 7 | 明電グループ価値創造の歴史 |
| 9 | 明電グループの価値創造プロセス |
| 11 | 重要課題(マテリアリティ)の特定プロセス |
| 13 | 重要課題(マテリアリティ)と「中期経営計画2027」の関連 |
| 15 | 中期経営計画2027 |

事業を通じた価値創造

- | | |
|----|--|
| 25 | 明電グループ At a Glance |
| 27 | 電力インフラグループ |
| 29 | 海外変電事業の展開 |
| 31 | 価値創造事例1
サステナブルインフラを支えるSF ₆ ガスフリー真空遮断器
～拡大するFガス規制を追い風に新たな市場へと挑む～ |
| 33 | 社会システムグループ |
| 35 | 産業電子モビリティグループ |
| 37 | 価値創造事例2
半導体製造を支える真空コンデンサ
～伝統と革新の融合、独自技術の価値創造ストーリー～ |
| 39 | EVグループ |
| 41 | フィールドエンジニアリンググループ |
| 43 | 価値創造事例3
現場のニーズに応える、保守サービスの進化
～インフラの安心と信頼を支えるファシリティマネジメント～ |

成長戦略を支える経営基盤

- | | |
|----|-----------------------|
| 45 | 財務担当役員メッセージ |
| 49 | TCFD提言に基づく気候変動関連の情報開示 |
| 53 | 第三次明電環境ビジョンの推進 |
| 55 | 事業を通じた脱炭素社会への貢献 |
| 57 | 人的資本の強化 |
| 61 | 人権の尊重 |

コーポレートガバナンス

- | | |
|----|--------------------|
| 63 | コーポレートガバナンス |
| 71 | 取締役一覧 |
| 73 | リスクマネジメント/コンプライアンス |

会社情報

- | | |
|----|--------------|
| 77 | パフォーマンスハイライト |
| 79 | 10か年財務データ |
| 81 | 明電グループの概要 |